

調査図幅の 選定と計画

調査図幅を選定する際には

- 地下資源の豊富な地域
- 国土総合開発特定地域
- その他急速に調査を要する地域

などの条件が考慮される。

図幅内には古生層・中生層・才三紀層・才四紀層・深成岩・火山岩・変成岩など各種各様の地層や岩石が現われるが、地質学の発達により地質の調査・研究も専門化されているので、いろいろな岩石が現われる複雑な地質を含む図幅を一人で調査することは非常に大きな労力と時間がかかるから、できるだけ既存の資料によつて該地

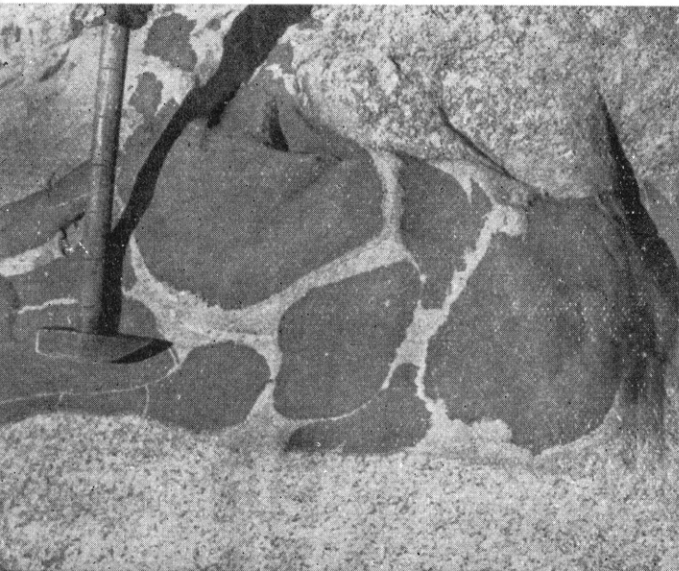
の地質を知り、その地域の各種の地質に適した各調査員が共同して調査にあたることになる。

例えば、古生層と深成岩が最も広く分布しているような場所には、古生層に関する分野を専門としている者と深成岩の分野を専門としている者が一緒になつて、同一の図幅地域を調査するように計画される。

図幅調査の開始

調査員は担当する図幅に関係のある文献・空中写真などの既存の資料をしらべて予備知識を増すように努めるが、資料がないときは全く未知の所へ調査に出かけることになる。使用する地形図は2万5千分の1その他縮尺の小さい地形図があればそれをを用いるのが理想的であるが、そのような都合の良い場合は少い。通常は空中写真（ほぼ5万分の1）と5万分の1の地形図（建設省地理調査所発行）によつて実施することが多いが、また空中写真を引き伸ばして用いることもある。

花崗岩中の捕獲岩



不整合の一例（不整合面は中央を斜行）

